

2013年2月5日(火)

報道関係者各位

公益財団法人 笹川平和財団 (SPF)

笹川平和財団主催 難民に関するシンポジウムのご案内  
「日本における難民受入の可能性と課題」  
～スウェーデンからの示唆～  
2013年2月18日開催

笹川平和財団（東京都港区、会長：羽生次郎）は、「難民受入政策の調査と提言」事業の一環として、スウェーデンの移民庁で難民受入政策を統括しグローバルな議論をけん引するオスカー・エクブラッド氏と、自治体レベルの定住支援をゼロから切り拓いてきたケネス・フォセル氏を招へいし、シンポジウムを開催します。

北欧諸国では、移民国家ではないにも関わらず、難民受入に積極的に取り組んでいます。当財団では、移民政策、自立支援等の専門家による北欧諸国の難民受入政策に関する調査を実施してきました。彼らは国家としてどのように難民受入を位置づけ、どのように定住の成功に導いてきたのでしょうか。

本シンポジウムでは、スウェーデンの専門家2名に加え、UNHCR 駐日事務所副代表の小尾氏、内閣官房で第三国定住パイロットプログラムを担当してきた中川氏、三重県鈴鹿市で第三国定住難民・第一陣の受入に携わってきた吉崎氏、ならびに北欧調査を率いてきた筑波大学・明石氏ほかにご登壇いただきます。（プログラムは別紙参照。）

シンポジウム

日時：2013年2月18日(月) 15:30～18:00 (15:00 受付開始)

場所：日本財団ビル2階 大会議室（東京都港区赤坂1-2-2）

銀座線虎ノ門駅、または溜池山王駅より徒歩5分

地図) <http://www.spf.org/profile/access.html>

参加費無料、日・英同時通訳付

申込方法：

SPFホームページ [http://www.spf.org/event/article\\_8660.html](http://www.spf.org/event/article_8660.html)

または添付の申込用紙で Fax にて

2013年2月15日(金) 正午(12時)までにお申し込みください。

【事務局】

公益財団法人笹川平和財団

事業部 岡本・加藤(麻)

Tel: 03-6229-5437 Fax: 03-6229-5473

プログラム

- 15:30~15:40 開催挨拶：笹川平和財団常務理事 茶野 順子
- 15:40~15:55 来賓挨拶：小尾 尚子氏 UNHCR 駐日事務所副代表
- 15:55~16:10 講演：中川 深雪氏 最高検察庁公安部検事（前内閣官房副長官補室内閣参事官）  
「日本の第三国定住の取り組み」
- 16:10~16:30 講演：オスカー・エクブラッド氏 スウェーデン移民庁難民認定局副局長定住課長  
「スウェーデンの難民受入の理念と政策」
- 16:30~16:50 講演：ケネス・フォセル氏 スウェーデン・ユースダール市難民定住局長  
「ユースダール市での取り組みと課題」
- 16:50~17:30 パネル・ディスカッション  
【モデレータ】可部 州彦氏 明治学院大学教養教育センター講師  
【パネリスト】
- ・オスカー・エクブラッド氏
  - ・ケネス・フォセル氏
  - ・中川 深雪氏
  - ・吉崎 美穂氏 鈴鹿市市民対話課外国人交流室長
  - ・明石 純一氏 筑波大学大学院人文社会科学部研究科助教
- 17:30~18:00 質疑応答
- 18:00 閉会

**Press Release :**

**FAX to : 03-6229-5473 (笹川平和財団事業部)**

笹川平和財団 主催シンポジウム  
「日本における難民受入の可能性と課題」

2013年2月18日(月)

申込用紙

笹川平和財団 事業部加藤(麻)宛

TEL: 03-6229-5437、Email: m-kato@spf.or.jp

(送信期限: 締切日は2月15日(金)正午(12時)とさせていただきます。)

-----  
□2月18日(月)の難民に関するシンポジウムへの参加希望

フリガナ

ご芳名: \_\_\_\_\_

ご所属: \_\_\_\_\_

部課名: \_\_\_\_\_

お役職: \_\_\_\_\_

ご住所: \_\_\_\_\_

TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_